



藩札を焼いた近似の河原と鍛冶屋町付近

43)に二度の大火災が起きて、武家屋敷も多く焼失、その再建資金を得るためか、五匁札を大量に発行したため値打ちが下がり、額面での通用が難しくなり、偽札も出回ったのです。なお当時の金額を現在の価値に換算することは非常に困難ですが、あえて言及すると、「山田方谷全集第二冊」に「10万両は万貫匁」と記載されていて、万貫匁は一万匁のことですから、仮に一両を今の10万円とすると、一匁は千円と思われまふ。

額面通りに使われない藩札では価値がないと考えた方谷は、信用を取り戻すため、嘉永3(1850)52年、天保に作られた過半数の五匁札を貨幣に両替することを藩民に告知し、発行時の準備金を全部使い、足りなくなると借金して481貫110匁(約5億円)の藩札を偽札も含めて買い取り、回収を断行しました。嘉永5年9月5日、朝8時から午後4時まで、回収された藩札の焼却を、元締の方谷をはじめ奉行役・吟味役など関係役人が総出動で実施しました。未使用や、傷みの激しい藩札も合わせて、総額711貫300匁を一枚ずつ確認しながら焼きました。高梁川の近見側は対岸の河原にも大勢が朝早

くから押し寄せ、祭り見物のような大変な賑わいだっただことでした。藩札の焼却は他に例のないことでした。その後、確実な準備金のもとに永銭(永札)と呼ばれる新紙幣を発行しました。文は匁と同じですが、この永銭は3種類あって、百文札は10枚で金一両、十文札は100枚で金一両、五文札は200枚で金一両と交換することが札の裏に明記されています。このように方谷は藩札の運用に、財務にそぐう力の大半を使って取り組みましたので、藩札の信用は回復し、幕末までほぼ額面通りに流通しました。

嘉永5年、撫育方という役所を新設して収納米以外の一切の産物を買取り、大坂、江戸など各地に送って販売させ、収益を役所で管理させました。撫育方で行われる産業振興策は藩財政を充実させるだけでなく、一般の人々の生活を楽にすることがねらいです。

藩札の信用が定着したので、藩は領内から産物を藩札で購入し、他領で売るときは金貨や銀貨などを受け取ることができ、撫育方に多くのお金が集まり、これを元手に新しい産業を興すことが出来るようになりました。また、領内の農家の次、三男に永銭札を資金として貸し付け、荒廢地を農地に開拓させました。新しい田からは3年間税を取らなかつたとのことです。山に杉・ヒノキ・竹・漆を

植えさせ、米作以外の土地を利用し、ハゼ・茶・みかんなどを奨励しました。特に津川の茶は上等な品で、「霜の花」と呼ばれて高く売れました。筑前より購入して下倉・作原に植えさせたハゼから蠟が作られ、利益を生みました。各地に葉タバコも増殖させています。方谷の詩に「タバコを刻む音がさつさつと聞こえる 城下千軒の半ばがそれを生業としている」とあり、武士の家でも家計の助けに刻む人がいました。刻みタバコを撫育方が買い取り、それを扱う問屋が本町・下町に数軒並んで繁盛しました。問屋はそれを玉島に送り、江戸・大坂に送り出していました。

また、備北の三室、吉田の鉄山を開掘して砂鉄を採取し、高瀬舟で運び、近似に鍛冶屋町を開き、出雲地方や各地より職人を集めて家を提供しました。数十軒の鍛冶屋で製造される、釘をはじめ鋤・鍬などの農具は江戸で良く売れ、その頃は鍛冶する音が夜中まで続き、対岸の本町、下町の人にはやかましくて眠れなかつたところを言っていたといふことです。

(文・児玉亨さん)



備中松山銀札

# 山田方谷を語る 八

## 財政の健全化

方谷は上下節約と借金返済計画を実行しながら藩札問題に着手しました。

藩札とは藩が幕府の許可を得て発行する紙幣で、領域内の売買に使用され、藩外に出るときは貨幣と交換できるものです。発行する時に藩は兌換のための準備金の用意が必要です。松山藩では延享元(1744)年、札座を置き一匁札を発行し、寛政9(1797)年に五匁札を発行しています。しかし天保年中(1830)

## 学園だより

### 吉備国際大学公開講座(岡山県生涯学習大学)のご案内

吉備国際大学では、下記の日程で「岡山県生涯学習大学：東アジアの現在(いま)を考える」を開催します。すべての講義受講者には、最終日に修了証書が発行されます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- ・受講料 1000円(1つの講座のみ受講といった単独受講も可能です)
- ・申込方法 7月25日(金)までに、電話・ファクスでお申込みください。(電話の受付時間は、平日午前9時20分～午後5時。ファクスの場合、①氏名・ふりがな ②年齢 ③住所 ④電話番号を記入)
- ・場所 吉備国際大学14号館 5階14506教室

開催日	時間	演題	講師
8月28日(木)	午前10時～正午	日本の教育と中国の教育	社会科学部 教授 赤坂真人
	午後1時～午後3時	中国・黒竜江省で花開いた日本の稲作技術	地域創成農学部 教授 加古敏之
8月29日(金)	午前10時～正午	社会学から考える中国の若者	社会科学部 准教授 巒田竜蔵
	午後1時～午後3時	サムソンはなぜ強いのか	社会科学部 教授 姜 明求
9月4日(木)	午前10時～正午	PM2.5と大気汚染の現状1(日本と中国の現状)	社会科学部 教授 小田淳子
	午後1時～午後3時	PM2.5と大気汚染の現状2(日本と中国の現状)	社会科学部 教授 小田淳子
9月5日(金)	午前10時～正午	アジアの視点から見た私たち日本人の暮らしや生き方	非常勤講師 臼井洋輔
	午後1時～午後3時	朝鮮半島の現状	社会科学部 教授 李 分一

☆上記の他にも、市民講座(9月～10月)のほか、11月までさまざまな講座を予定しています。公開講座の内容は、大学ホームページ(<http://kiui.jp/pc/>)にも掲載しています。

■問い合わせ・申込み先 吉備国際大学 庶務課 (☎227404 FAX227560)

国際交流会館レストラン「ラ・エスぺランサ」では、8月中旬から「夏のイタリアンランチフェア」を開催予定です。詳しい内容は、来月号の広報たかはしでお知らせします。

## 成羽病院通信

■問い合わせ ☎423111

### 認知症と物忘れ

成羽病院・認知症ケア相談員 藤井篤子

認知症にはアルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体性認知症などがありますが、全体の約3分の2を占めているのがアルツハイマー病です。認知症の重症化を防ぐためには、初期のアルツハイマー病なのか加齢による物忘れなのかを早期に区別することが大切です。

「あれ、おかしいな?認知症かも?」と家族や身近な人の異変に気づいたら、医療機関や周りの人に相談してみましよう。早期に発見、治療することにより、進行を遅らせることができます。

#### ●日常生活上でアルツハイマー病を考えるポイント

- ①物忘れ(置き忘れ、しまい忘れ)が多くなった。
- ②同じことを何回も聞いてきたり、言ってきたりする。
- ③今まで出来たことに対して、確認することが多くなった。
- ④些細なことですぐに怒りだすようになった。
- ⑤意欲がなくなった。自分から何もしない。
- ⑥「えっ!」と感じることが最近多くなった。

#### ●一般の物忘れ(健忘)と認知症による物忘れの違い

一般の物忘れ(健忘)	認知症
体験の一部分の物忘れ	体験全体の物忘れ
物忘れの自覚がある	物忘れの自覚がない
物忘れが進行しない	物忘れが進行性で悪化する
日常生活に支障がない	生活障害がおこる

認知症に対しては自分一人で抱え込もうとせず、おかしいと思ったら早めの相談を心がけましよう。

広報たかはし2月号(vol.113)の成羽病院通信でお知らせした「納豆を食べることを控えなければならない血液を固まりにくくする薬」は、代表的なものとして「ワーファリン」があります。全ての「血液を固まりにくくする薬」に当てはまるわけではありません。説明不足をおわびします。詳しくは、医師、薬剤師にご相談ください。

